

八代型 小中一貫・連携教育

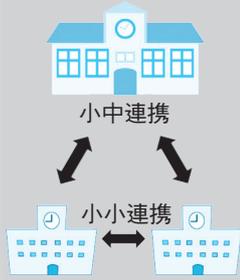


平成 23 年度からモデル校指定事業により準備を進めてきた八代型小中一貫・連携教育を、平成 27 年 4 月から全中学校区で完全導入しました。

学校教育課 ☎30-1673

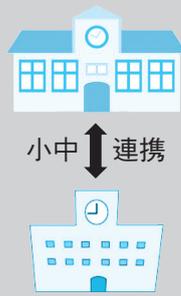
校区型

小中学校が近接していない
または小学校が複数



隣接型

小中学校が近接



一体型

小中学校が施設一体



ど
う
い
う
形
態
が
あ
る
の

子どもたちの「生きる力」を育むため、小中学校が義務教育9年間を見通した目標（めざす子ども像など）や指導内容、指導方法などを共有し、中学校区の実態に応じて相互に連携・交流し合いながら、子どもたちの育ちと学びの連続性を図る教育活動です。



八代型小中一貫・連携教育とは

1. グランドデザインを策定し、「めざす子ども像」を明らかにして推進します。

※グランドデザインとは、義務教育9年間を見通した「めざす子ども像」などを学校・保護者・地域が共有するための全体計画です。

2. 全市小中学校で小中連携コーディネーターを位置づけ、推進の充実をめざします。

※小中連携コーディネーターとは、「先生をつなぐ」「子どもをつなぐ」「先生と子どもをつなぐ」「地域をつなぐ」小中連携担当の職員です。



全中学校区共通
7つの取り組み

「中学生になるのが楽しみ」と答える6年生の割合が年々増えてきています。

H23	楽しみ 45%	32%	14%	9
H24	44%	どちらかといえば楽しみ	37%	118
どちらかといえば楽しみではない				
H25	53%	29%	117	
楽しみではない				
H26	55%	29%	106	

平成23年度より、小中一貫・連携教育の推進で、効果が現れています。



小中一貫・連携教育に関する意識調査

■各中学校区の特徴ある取り組みを実施
(学校と地域の強みを生かして)

これに加えて

- 小中一貫・連携カリキュラム
- 学習、生活、家庭学習指導計画 (各手引きなども含む)
- 人権同和教育指導計画



7. 9年間を見通して3つの年間計画を作成

- 情報発信(連携日より、学校日より、啓発リーフレット)
- 小中連携PTA活動
- 住民自治との連携



6. 地域とつなぐ取り組みを実施

- 情報発信(連携日より、学校日より、啓発リーフレット)
- 小中連携PTA活動
- 児童会、生徒会の交流活動

5. 子どもをつなぐ取り組みを実施

- 小中合同行事
- 小学校高学年による中学校体験活動
- 児童会、生徒会の交流活動



4. 先生をつなぐ取り組みを実施

- 小中合同研修会
- 相互乗り入れ授業の推進
- 情報交換会

3. 「推進委員会」を組織して、合同研修会や専門部会などの計画立案を行い、改善しながら推進します。